



前へ

FORWARD

参議院議員(全国比例)、公明党内閣第一部長、同九州方面副本部長、同沖縄方面副本部長、同鹿児島県本部代表、奄美ティダ委員長。

26年間の自公連立政権に区切り 中道改革を旗印に新出発！ 参院予算委員会で論戦

公明党は10月10日、26年間に及んだ自民・公明両党による連立政権に区切りをつけ、中道改革を旗印に新出発を切りました。野党として初めて臨んだ第219回臨時国会。参院予算委員会で質疑に立ち、日米関係や治安対策、離島振興などで高市新政権に論戦を挑みました。

核実験の再開を表明した米トランプ政権に対し、唯一の被爆国として核廃絶の強い姿勢を示すよう求めるとともに、日米地位協定の改正を働き掛けるよう力説。また、「トクリュウ(匿名・流動型犯罪グループ)」対策の強化についても訴えました。離島振興については、本土から島に帰省する出身者の離島割引運賃の枠を拡大するよう求めたのに対し、高市総理は「思いも受け止めた。国交省・内閣府で関係自治体の意見も聞きながら検討する」と前向きな姿勢を示しました。

■ 窪田哲也プロフィール

昭和40年、愛媛県久万高原町生まれ、松山市育ち。県立松山西高校卒、明治大学法学部卒。公明新聞記者として、九州支局、沖縄支局、政治部などを経て、平成22年から九州支局長。1面コラム『北斗七星』を執筆。令和4年の参院選で初当選(1期)。



日米関係や治安対策、
離島振興などで質疑(11月13日)

くぼた哲也の活動記録

大分・佐賀関の大火災、現地に急行



大規模火災で被災した住民のもとへ。

「公明党がそばにいます!」と。(11月22日、大分市佐賀関)

10月18日夕に発生した大分市佐賀関の大規模火災で被災された皆さまに、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。火災発生から初の週末となった22日、現地に急行。公明党大分県本部議員と一緒に被災住民を見舞いました。県本部議員と連携し、生活の再建や、漁業をはじめとする生業の支援に取り組みます。

8月大雨被害、被災地復旧に全力



土砂でうまった農業用水路などを
視察し、住民を激励。
(8月9日、鹿児島県霧島市)



熊本県の木村敬知事から事業や
生活の再建に向けて要請を受けました。
(8月20日、熊本県庁)

8月に九州各地を襲った大雨被害を受け、直ちに熊本、鹿児島両県の被災地に急行し、全力で復旧に取り組んでいます。公明党対策本部で、土砂がたまった農業用水路(鹿児島・霧島市)の早期復旧や、介護や放課後デイサービスなど通所施設の水没車両に対する支援などを主張しました。





くぼた哲也 トピックス

離島振興で党の信頼を構築

公明新聞記者時代、沖縄県内のほぼ全ての島を訪問。過酷な自然条件と、都会との生活格差の中で、島で生きる人々と出会い、産業と暮らしを守ることが日本の国土を守ることにたと実感しました。2022年7月に参院議員に初当選。現在では党離島振興対策本部事務局長、党奄美ティダ(太陽)委員長として、島民の声を国政に届けるため、鹿児島を拠点に九州・沖縄の島々を駆け回っています。鹿児島では23年6月に奄美大島、24年11月に与論町(与論島)を集中豪雨が襲

国会議員リポート

参院議員
窪田 哲也



豪雨被害を受けた農家から窮状を聞く筆者(右端) 2024年11月 鹿児島・与論町

い、その度に現地に急行して窮状を聞き、復旧に汗を流しました。今年6月から

のトカラ列島群発地震では島民の安全確保と生活基盤の維持に努めています。昨年、改正奄美群島振興開発特別措置法が成立。沖縄との連携強化やインフラ整備のための予算確保が前進しました。目下の課題は26年度末に期限を迎える有人国境離島法の改正・延長。先月、全国離島振興協議会から同法延長とともに、産業振興などへ向けた予算確保の要望を受けました。参院選で公明党は議席を減らしましたが、離島の多くの自治体で、比例第1、2党を堅持。これを離島振興に真面目に取り組み公明党への信頼の証しと捉え、一層の振興策強化にまい進していきます。

公明新聞・8月14日付

国会便り

体感治安が悪化
早急な対策要請



○：交流サイト(SNS)でつながる「匿名・流動型犯罪グループ」の強盗事件や詐欺事件が相次ぎ、体感治安が悪化している。公明党鹿児島本部代表の窪田哲也参院議員(59)は比例写真1は4日、党を代表して国家公安委員長に対策の抜本的強化を要請した。

○：法案審査などを担う党政務調査会の内閣第一部

会で、今年から部会長を務める。警察庁が2024年10月に実施した調査では、ここ10年間で日本の治安が「悪くなったと思う」との回答が7割を超えており、「治安・犯罪対策は待ったなしの課題」と語る。○：最近、SNS型投資・ロマンス詐欺などの被害を周辺で耳にする機会が増えたとし、「治安への懸念は首都圏も地方も同じ。安心して暮らせる日本を」と強調。要請には、警察に相談していた女性が遺体で見された川崎市の事件を踏まえたストーカー規制法改正の検討なども盛り込んだ。(山下翔吾)

南日本新聞・6月8日付

平和の心、公明党は貫き通す!

戦後の日本が貫いてきた平和国家としての歩みを、片時も止めてはなりません。公明党はこれからも、「平和の心」を貫き通します。戦後 80 年。日本を取り巻く安全保障関係が一段と緊迫化している中だからこそ、多くの犠牲を招いた先の大戦の歴史と教訓を噛みしめなければならない、被爆地や沖縄の声に耳を傾けなければならない、と考えます。



公明党の斉藤代表とともに、被爆地の韓国人原爆犠牲者慰霊碑に献花。(8月8日、長崎市)



全戦没者の名を刻んだ沖縄「平和の礎」に花を捧げ、犠牲者の冥福を祈る。(6月23日、沖縄県糸満市摩文仁)



公明党宮崎県本部の議員団と一緒に終戦記念日の街頭演説会を実施。(8月15日、宮崎市)

島の暮らしを守ります!



◀竹谷代表代行と共に、鹿児島県甕島を訪問し、住民よりご意見やご要望を伺う。(9月29日、鹿児島県薩摩川内市)

甕島(鹿児島県薩摩川内市)に移住して地域発展に奮闘する皆さまから、若者の移住・定住策が島の人材不足解消とのご意見や、交通の利便性向上などの要望を伺いました。

離島が抱える課題を真摯に受け止め、住民が安心して住み続けることができるよう、課題解決に尽力してまいります。

窪田哲也
事務所

- 国会事務所 〒100-8962
- 鹿児島事務所 〒890-0052
- 沖縄事務所 (公明党沖縄県本部) 〒900-0012

東京都千代田区永田町2-1-1 参院議員会館202号室
TEL 03-6550-0202 FAX 03-6551-0202
鹿児島市上之園町25-36 光健ボイスビル306号室
TEL 099-296-8920 FAX 099-296-8920
沖縄県那覇市泊1-4-13
TEL 098-862-0211 FAX 098-864-1718
MAIL : tetsuya_kubota_all@komei.jp